

## 【松浦先生による紫蘇油を使った臨床データ】

### 紫蘇油による 必須脂肪酸欠乏症 の治療

64歳 女 157cm 38kg BMI 15.4 腸閉塞 術後 幽門より1mに空腸瘦 エレンタールのみ 紫蘇油 飲用 15ml				8ヶ月後 紫蘇油 なし 普通食	基準値
脂肪酸 点滴なし	前	1W	3W		
ω6リノール酸 μg/ml	/	388	351	823	790~1180
アラキドン酸 "		116	119	178	113~166
ω3リノレン酸 μg/ml	/	69	83	21	11~35
EPAω3 "	/	85 → 119		43	17~68
DHAω3 "	/	72 → 94		102	56~109
脂肪酸 総量 "	/	1930	1969	2113	
全ω6 : 全ω3	/	2.7	1.3	5.6	推奨値4

シソ油がなければ普通の数値になる

シソ油により両方同時に増加  
医薬品にはこのように作用するものはない

ω6:ω3がこのようなことは有り得ないがシソ油では可能

### 紫蘇油7.5mlによる血中脂質の変動

脂肪酸総量	3000以下				3000以上			
	症例・1 女 64歳		症例・2 女 61歳		症例・3 男 51歳		症例・4 男 58歳	
	前	4W	前	4W	前	4W	前	2W
TC mg/dl	162	226	224	230	191	213	305	250
HLD-C mg/dl	66	72	53	58	34	44	37	35
TG mg/dl	125	34	95	68	226	145	1184	665
全ω6:全ω3	5	4	4	3	3	3	3	3
脂肪酸総量 μg/ml	1883	2284	2178	2177	3278	2248	10958	6042

HDL-C 増  
TG 減  
ω6:ω3 減

脂肪酸総量 減  
3000以上40%減  
高脂血症の根源  
薬では減らない

紫蘇油は  
脂質量を適正化する

脂肪酸総量についての治験例はない  
2000以下の少ないものは増加  
2000前後は変動なし  
3000以上は減少  
本当の脂質改善は (1)脂肪酸総量を3000位にする  
(2)ω6:ω3を3:1にすること  
今の脂質異常症の治療はウソではないが本当ではない

TGが、  
2週間で半分になった  
医薬品の臨床試験は  
300以下のものもある  
1000をこえた治験はない

下肢温冷感 と EPA 7.5ml飲用時

64歳 女性	開始時	1W後	2W後	3W後	4W後
EPA $\mu\text{g/ml}$	38	48	112	83	71
DHA $\mu\text{g/ml}$	76	99	126	102	108
温・冷感	冷	温			
T-C $\text{mg/dl}$	222	204	205	224	226
HDL-C $\text{mg/dl}$	49	56	66	68	72
T G $\text{mg/dl}$	46	42	41	53	34

増 医薬品にない働き

→増 — HDLを増やす薬はない  
→減 — シソ油は飲むと増える

飲用3日後 → 温 中止3日後 → 冷

EPAの増加 → 下肢血流 増

DHAの増加 → 脳神経系の賦活・認知症など

魚 不要 用意・迅速・著増・薬剤に優る効能

脂肪酸総量・高脂血症と $\alpha$ リノレン酸

※「紫蘇油7.5ml飲用による血中脂質の変動」表より、症例4の男性の治療前の血中脂肪酸

症例・4 58歳 男 160/100 30年 タバコ30本 未治療 167CM 64KG BMI 22.9		健常人 通常値
T-C	$\text{mg/dl}$	305
HDL-C	$\text{mg/dl}$	37
TG	$\text{mg/dl}$	1184
脂肪酸総量	$\mu\text{g/ml}$	2500
リノール酸	$\mu\text{g/ml}$	673
$\alpha$ リノレン酸	$\mu\text{g/ml}$	45
リノール酸 : $\alpha$ リノレン酸 (2588 $\mu\text{g/ml}$ / 201 $\mu\text{g/ml}$ )		25
全 $\omega$ 6 : 全 $\omega$ 3		5.0

脂肪酸総量は3000位が理想と考えられるが、この男性のように脂肪酸総量が大きく上回っていても、**血液中の $\alpha$ リノレン酸の割合が多く**  
 **$\omega$ 6: $\omega$ 3の割合が3:1(適正值)に近い場合、高脂血症のリスクが軽減される**

一般的な日本の健常人はこの値が大きい  
これは $\alpha$ リノレン酸が少なくリノール酸が多い  
状態であることを示している

症例4の男性は数値が小さく、 $\alpha$ リノレン酸の割合が多い事が分かる

日本人の $\omega$ 6: $\omega$ 3はおよそ5:1だが、3:1以下が理想である

症例4の男性は、脂肪酸総量が健常人よりも高い治療前の段階でも、 $\omega$ 6: $\omega$ 3が3:1と理想に近い